

式 辞

未だ寒さの残る中にも、真冬の寒さから日一日と春の日差しが感じられつつある今日の佳き日に、大阪府立春日丘高等学校 平成30年度卒業証書授与式を挙行するにあたり、公私ご多用中にもかかわらず、大阪府教育庁ご代表をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、門出に華を添えていただきましたこと、高いところからではございますが、心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

ただ今、317名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。保護者の皆様方におかれましては、この三年間は嬉しいことばかりではなく、ご苦労の多い日々ではなかったのではないのでしょうか。しかしながら今、晴れやかなお子様の姿をご覧になって、やっとここまで来たのだという感慨は一入ではないのでしょうか。心よりお祝いを申し上げるとともに、今日まで本校を支えていただきましたことに感謝を申し上げます。

さて、71期生の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年前、難関を突破して入学した時の喜びを覚えていますか。今、卒業式に臨み、皆さんの脳裏にはどんな思い出が浮かんでいるのでしょうか。自分の進路実現のために努力を積み重ねた勉強。青春のエネルギーを燃やした部活動や生徒会活動。友人と力を合わせて取り組んだ体育祭や文化祭、クラスマッチなどの学校行事でしょうか。沖縄への修学旅行での様々な体験は大きな思い出となったことでしょうか。そのいずれにおいても皆さんは一生懸命に取り組み、充実した高校生活を送り、自分の素晴らしい可能性を見つけてくれたものと信じています。しかし、その陰には、暖かく見守って下さったご家族の方や先生、友達等多くの人の励ましや支えがあったことを決して忘れてはいけません。そして、回りの人に支えられているということはこれから先も永遠に忘れないでください。

先日、今年の思いを表す漢字が発表されました。圧倒的な票数で第1位になったのは「新」でした。「新元号、気分も新たに頑張りたい」「新しい時代の幕開け」「新しいことに挑戦する一年」「新しい自分に出会いたい」等前向きなものが多いのです。平成最後の本年、多くの人々が『節目の年』と捉えているのではないのでしょうか。様々な節目を迎えるたびに、心新たに前進する人は充実の人生を歩むことができるのです。新しい挑戦は、常に『これまでの自分』との戦いです。決して生やさしいものではありません。しかし、臆病の気持ちを振り払い、思い切って一步を踏み出した時に、新しい世界が開けるのです。

世界で年間1千億食以上、平均すると人類全員が毎月1食は食べるという「インスタントラーメン」。生みの親である日清食品創業者の安藤百福（あんどうももふく）氏は、戦後間もない頃、大阪・梅田駅の裏手で、『世紀の発明』の着想を得ました。粗末な身なりで寒空に震えつつも、ラーメンの屋台に長い行列をつくる人々を見て、「行列の中に庶民の強烈な思いが隠されているのを知り、大きな需要が暗示されている」と感じたといいます。皆さんもこれまでの自分を『一新』する決意で、「勇気」を持って出発して欲しいと思います。

最期に、卒業生の皆さんが、春高生であったことを誇りとして、それぞれの目標に向かって努力し、それぞれの世界でリーダーシップを発揮して活躍されることを心より祈念しています。皆さんの明るい未来を期待して私の式辞いたします。

平成31年2月28日

大阪府立春日丘高等学校校長 福留 明富